

動物学会関東支部大会 公開シンポジウム

挑戦する両生類:

カエル・イモリを使った研究の最前線

カエルやイモリは人里近い自然に住んでおり、人間にとって身近な生き物の一つです。特にその強い再生力は有名ですが、最近のゲノム研究の進歩により、両生類の研究がヒトに応用されることも現実的になってきています。さらに常識を覆す様な新しい発見もあり、本シンポジウムでその一端をご紹介しますと思います。

日時：2019年3月9日（土）午前10時～12時

場所：中央大学 理工学部（後楽園キャンパス）5号館 5534室

東京メトロ 後楽園駅 徒歩5分！

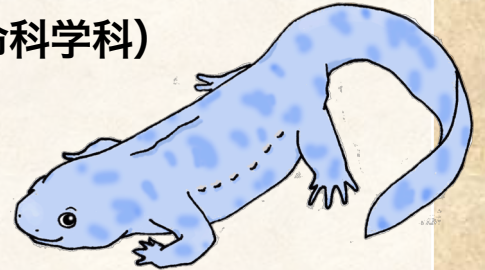


入場無料
参加申込不要

モデルイモリが可能にする新しい再生医療への挑戦



講師: 林 利憲 (鳥取大学医学部生命科学科)



再生シグナル応答エンハンサー

～活性化メカニズムと進化的保存性の意味～



講師: 越智 陽城 (山形大学医学部
メディカルサイエンス推進研究所)



温泉ガエルから温度適応の不思議に迫る



講師: 井川 武 (広島大学両生類研究センター)



お問い合わせ先:

日本動物学会関東支部第71回大会準備委員会代表

上村 慎治 (Tel: 03-3817-7105, E-mail: skam@bio.chuo-u.ac.jp)

〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27 中央大学理工学部生命科学科

主催: 日本動物学会関東支部 (<http://www.zoology.or.jp/kantou/index.asp>)